

令和3年度 第12回

優秀賞

受賞者

相内 正志

受賞テーマ

丸太検収アプリ「ログカウンター」の開発

内 容

径の異なる丸太の本数を分別しながら、山土場に「はい積み」された丸太の材積を計算できるアプリを開発。その日に造材した材積や、トラックに積み込む材積の計算にも便利なツールである。

住 所

石川県

優秀賞

受賞者

ポロ・ビーシーエス株式会社 森林部

清光林業株式会社

松原自動車有限会社

受賞テーマ

現場の声を反映した林業用トラックの開発

内 容

林業用トラックの製造中止や仕様変更に危機感を抱いた考案者がブログで問題点を指摘。ネット上で話題となって自動車メーカーが動き出し、ついに新しいトラックの誕生につながった。

住 所

奈良県

優秀賞

受賞者

武田 一吉

受賞テーマ

チェーンソーのガンマーク練習ツール「覗見(のぞみ)ちゃん」の開発

内 容

伐倒方向に狙いを定めるためのチェーンソーの照準線(ガンマーク)。このガンマークを正確に見られる人が意外に少ないことから、ガンマークを正しく見るための補助器具を開発した。

住 所

岩手県

令和2年度 第11回

優秀賞

受賞者

株式会社カネカ（会長 川崎俊一氏）

受賞テーマ

川上、川下の一貫経営と付加価値の高い住宅の建築

内 容

金山スギの産地・金山町で、明治時代から800haの山林を経営。株式会社を立ち上げ、川上から川下までの一貫経営と、セミオーダーの住宅設計を行うことで、金山スギのブランド力向上と金山町のまちづくりに大きく貢献。

住 所

山形県

奨励賞

受賞者

NPO法人もりずむ（理事長 藤崎昇氏）

受賞テーマ

食っていける、儲かる林業

内 容

葉枯らし天然乾燥にこだわった森林組合職員、林家、県職員が 意気投合してNPOを設立。地元・三重県のスギを使って、付加価値を高めた木材の製造・販売を軸に、林業の振興と豊かな暮らしに貢献する活動を展開する。

住 所

三重県

令和元年度 第10回

優秀賞

受賞者

樹々の会

受賞テーマ

女性グループの山村ビジネス～クロモジの商品開発～

内容

クロモジの葉でお茶を作ることに端を発し、クロモジ茶葉を使ったソフトクリーム、飴、入浴剤などを次々と商品化。商品のネーミングやロゴマークに、女性ならではの視点とセンスが活かされている。

住所

京都府

優秀賞

受賞者

川又 正人 氏

受賞テーマ

「コンテナ苗植栽籠」の開発と誰でも自由に使用できるための特許出願

内容

コンテナ苗を背負って運搬し、背負ったまま植栽できる「籠」を考案。これまでコンテナ苗を運搬・配布していた労務がなくなり、労働生産性が向上した。また、実用新案に登録し、誰でも利・活用できるよう、普及に努めている。

住所

岩手県

奨励賞

受賞者

河方 恭平 氏

受賞テーマ

チェンソーに取り付ける丸太の背割り道具

内容

チェンソーを使って、丸太にまっすぐ背割りを入れられる道具を考案。安価かつ身近にある材料で作ることができ、軽量なので取扱や持ち運びにも便利である。

住所

岐阜県

奨励賞

受賞者

梅内聚落

受賞テーマ

集落のエネルギー産業おこし

内容

「作業は楽しく共同で、収益は公平に」を合言葉に、集落林700haと個人所有林1,200haを舞台に収益間伐、C材のバイオマス発電用チップ化、薪の駅プロジェクトと活動の幅を広げている山村集落の取り組み。

住所

秋田県

平成30年度 第9回

優秀賞

受賞者

藤原 儀兵衛 氏

受賞テーマ

マツタケのシロを増やす「根切り法」

内容

マツタケ専門の指導林家として群を抜いた収穫量を誇る氏は、長年の経験によって培った「マツタケ山づくり」と氏の創意工夫による「根切り法」を広く指導・普及している。

住所

長野県

奨励賞

受賞者

富田 勝幸 氏

受賞テーマ

林産事業作業日報分析プログラム

内 容 林産事業現場での作業進捗状況管理、素材生産事業の効率化、運材作業の実態把握と改善に役立つプログラムを開発、特許取得。

住 所 兵庫県

奨励賞

受賞者 木沢林業研究会

受賞テーマ ミツマタ、シカの地域特産化

内 容 長年、シカの被害に悩まされてきた研究会が、シカの被害を受けないミツマタの栽培・加工に着手し、シカ肉加工品も加えて地域特産品づくりに取り組む。

住 所 徳島県

平成29年度 第8回

優秀賞

受賞者 丹羽 健司 氏

受賞テーマ 「木の駅」プロジェクトの標準化と普及支援

内 容 ①「木の駅」プロジェクトの標準化、②ノウハウのオープン化、③普及支援による全国化の取り組み、等を通して地域振興に寄与。

住 所 岐阜県

奨励賞

受賞者 北河原 弘 氏

受賞テーマ チェーンソー目立て器具(刃先リンク固定万力)の開発

内 容 チェーンソーの目立ては刃先の固定が重要であり、振動を取り除くための刃先の固定を確実にを行う目立て器具(刃先リンク固定万力)を開発。

住 所 長野県

平成28年度 第7回

優秀賞

受賞者 小林 裕之 氏

受賞テーマ 森林境界明確化支援システムの開発

内 容 過去の複数時点の空中写真を用いて判読した施業界を参考に森林境界を推定する手法を開発。事前に境界を推定することで、現地での確認が容易になる。

住 所 富山県

奨励賞

受賞者 山本 一雄 氏

受賞テーマ 「バックホウ取付グラップルアタッチメント」の開発

内 容 農作業用バックホウのバケットに自作の爪を装着し、グラップルのように丸太を掴めるように工夫し、間伐等の搬出を行っている。

住 所 青森県

奨励賞

受賞者 加藤 善次郎 氏

受賞テーマ 樹皮で見分ける選木術

内 容 スギの成長特性(早生が晩生か、樹勢の変化等)の違いにより、数種類に分類。将来価値の有無を、樹皮で見極める選木の実践技術。

住 所 山形県

奨励賞

受賞者 安藤 実 氏

受賞テーマ 国産材による不燃木材の開発

内 容 遠赤外線による薬剤浸透と燻煙熱処理による不燃木材の開発。開発不燃木材は、大型公共建築に取り入れ実証されている。

住 所 宮崎県東臼杵郡美郷町

平成27年度 第6回

優秀賞

受賞者 若林 達 氏

受賞テーマ 写真で見る“間・択伐林の伐根クリタケ栽培”

内 容 人工林の林地生産性と保全性を高めるため、間・択伐林の伐根とその林分を活かしたクリタケ生産を取り入れ、複合経営と間・択伐の拡大による健全な森づくりを実証。

住 所 長野県小県郡青木村

優秀賞

受賞者 架線集材の低コスト化・省力化技術研究会

受賞テーマ 油圧式集材機と索張り作業に係る周辺機器の開発

内 容 安全で効率的な集材機の開発と楽に仕事ができる熟練した技術を要しない集材機の開発により、無線操作化、搬器の自動走行化により安全性の向上、および二人作業を可能とした。

住 所 和歌山県田辺市

奨励賞

受賞者 宮崎県林業技術センター・三樹陽一郎氏

受賞テーマ コンテナ苗育成技術「Mスターコンテナ」の開発と普及

内 容 一般的にはマルチキャビンコンテナ等の資材を必要とするコンテナ苗を、身近にある農業用資材や梱包材を利用して、樹種や苗木の大きさが変わっても同一資材で対応が可能となる「Mスターコンテナ」を開発・普及。

住 所 宮崎県東臼杵郡美郷町

奨励賞

受賞者 北郷女性林研グループ

受賞テーマ ビー玉ゲーム・杉の「ぼけない君」

内 容 山に放置された丸太の元玉を使って、ビー玉ゲーム・杉の「ぼけない君」を製造販売。単独でも知的刺激を喚起しながら遊技が可能であり、指先の機能訓練も兼ねるゲーム器具として実用新案に登録。

住 所 宮崎県東臼杵郡美郷町

平成26年度 第5回

優秀賞

受賞者 三原村森林組合

受賞テーマ バネなしくりわな「いのしか御用」
内容 バネなしくりわな「いのしか御用」は、より安全で軽量、簡単に設置できるバネのないくりわなであり、このわなを使用した結果、イノシシ、シカとも捕獲頭数が大幅に伸びた。
住所 高知県幡多郡三原村

優秀賞

受賞者 鹿沼地区林業振興協会
受賞テーマ コンパス測量とGPSを活用した平面図作成について
内容 コンパス測量とGPSを活用した平面図作成は、森林所有者が森林経営計画申請に必要な平面図の作成や面積計算等を自ら行うことができるような方法を開発したものであり、大いに役立っている。
住所 栃木県日光市

奨励賞

受賞者 井上 昭夫 氏
受賞テーマ 「理論的材積式」の開発
内容 理論的材積式は、樹種や地域に関わりなく高い適合度を持ち、普遍性、応用性に優れた材積式であり、森林資源量の評価、生産性と収支の予測、林分経営管理の最適化等に幅広く役立っている。
住所 熊本県熊本市

奨励賞

受賞者 二宮 一雄 氏
受賞テーマ 立ち枯らし除伐法
内容 立ち枯らし除伐法は、除伐対象木に鉋で傷を付け、その傷口にハンドスプレーで除草剤を吹き付けることにより枯死させる方法で、作業が簡単で、風雪害の恐れもない優れた方法である。
住所 愛媛県西予市

平成25年度 第4回

優秀賞、奨励賞ともに該当なし。

平成24年度 第3回

優秀賞

受賞者 石井 哲 氏
受賞テーマ 「簡易軽量炭化炉」の開発
内容 簡易軽量炭化炉は、煙突、焚き口、接合部に工夫を加え、軽量で組み立て・分解が容易、耐久性が大、高温域での製炭も可能、手軽に炭焼きができるなど、優れた点が多い。
住所 岡山県勝田郡勝央町

奨励賞

受賞者 諸富 一文 氏
受賞テーマ 多様な販売戦略による複合経営

内 容

多様な販売戦略による複合経営は、新月伐採、長材生産(13m)、注文生産、注文製材・販売、流通経路の簡素化、良質材生産などを行い、造林業、素材生産業、製材業などを組み合わせた複合経営で成功している。

住 所

福岡県八女市

奨励賞

受賞者

守分 巧 氏

受賞テーマ

「木材運搬用トレーラー」の開発

内 容

木材運搬用トレーラーは、軽自動車でけん引可能なトレーラーで、4m材が積載可能、公道走行が可能、けん引免許不要など、これまでできなかったことを可能とした。

住 所

岡山県岡山市

平成23年度 第2回

奨励賞

受賞者

露木 聡 氏

受賞テーマ

「リモートセンシング・GISデータ解析実習～入門編～」の出版

内 容

「リモートセンシング・GISデータ解析実習～入門編～」は、衛星リモートセンシングデータ及びGISデータの各種解析を行うための一連の手順を解説したマニュアルとソフト及びGISデータ等を収録したCD-ROM、実習レポート課題などで、実習を行うのに必要な教材をすべて同梱しており、操作しやすく工夫されているなど、学生用のテキストとして適している。

住 所

東京都文京区

奨励賞

受賞者

竹治 孝義 氏

受賞テーマ

竹パウダー製造機と用途開発

内 容

竹パウダー製造機は、竹を手軽に微細粉末にする簡易な機械として考案されたもので、できあがった竹粉を土壌改良材や有機肥料として使用するなど、拡大しつつある竹林の整備と伐採した竹の有効利用に効果を上げている。

住 所

徳島県阿南市

奨励賞

受賞者

荒薦 幹雄 氏

受賞テーマ

クサビ型ソーチェーンゲージの開発

内 容

クサビ型ソーチェーンゲージは、ソーチェーンのカッターとデプスゲージの間隔を簡易に測る定規で、カッターの長さを揃えるために使用する。カッター長の測定方法、カッター長の誤差の読み取り等に工夫を加え、簡便化し、チェンソーの目立てが容易になった。

住 所

島根県出雲市

平成22年度 第1回

優秀賞

受賞者

日光地区木材流通研究会 会長 齋藤 正 氏

受賞テーマ 「顔の見える木材での家づくり(木流研システム)」
内容 「顔の見える木材での家づくり(木流研システム)」は、家づくりに当たって、独自のサプライ・チェーン・ネットワーク(供給連鎖)を構築し、建て主が丸太を自ら選木伐倒し、設計士、製材業者、林家と一緒に木取りを決めるなど、安心、安全を提供し、実績を上げている。

住 所 栃木県鹿沼市

優秀賞

受賞者 FORCAS開発グループ 代表者 松本光朗 氏

受賞テーマ 「林業経営収支予測システム(FORCAS)」の開発

内容 「林業経営収支予測システム」はパソコン用のソフトウェアで、間伐・主伐の計画を指定すると、それに応じた収穫予測と収入、コストを予測し、間伐から主伐までを通じた収支を予測することができるもので、現場での使用も可能であり、実用性が高い。

住 所 茨城県つくば市

奨励賞

受賞者 飯干 福重 氏

受賞テーマ 「T字型定規」の開発

内容 T字型定規は、間伐木の伐倒方向を確実にするために考案されたもので、実用性に優れており、安全性の向上、作業の効率化に大いに役立つ。

住 所 宮崎県西臼杵郡高千穂町